

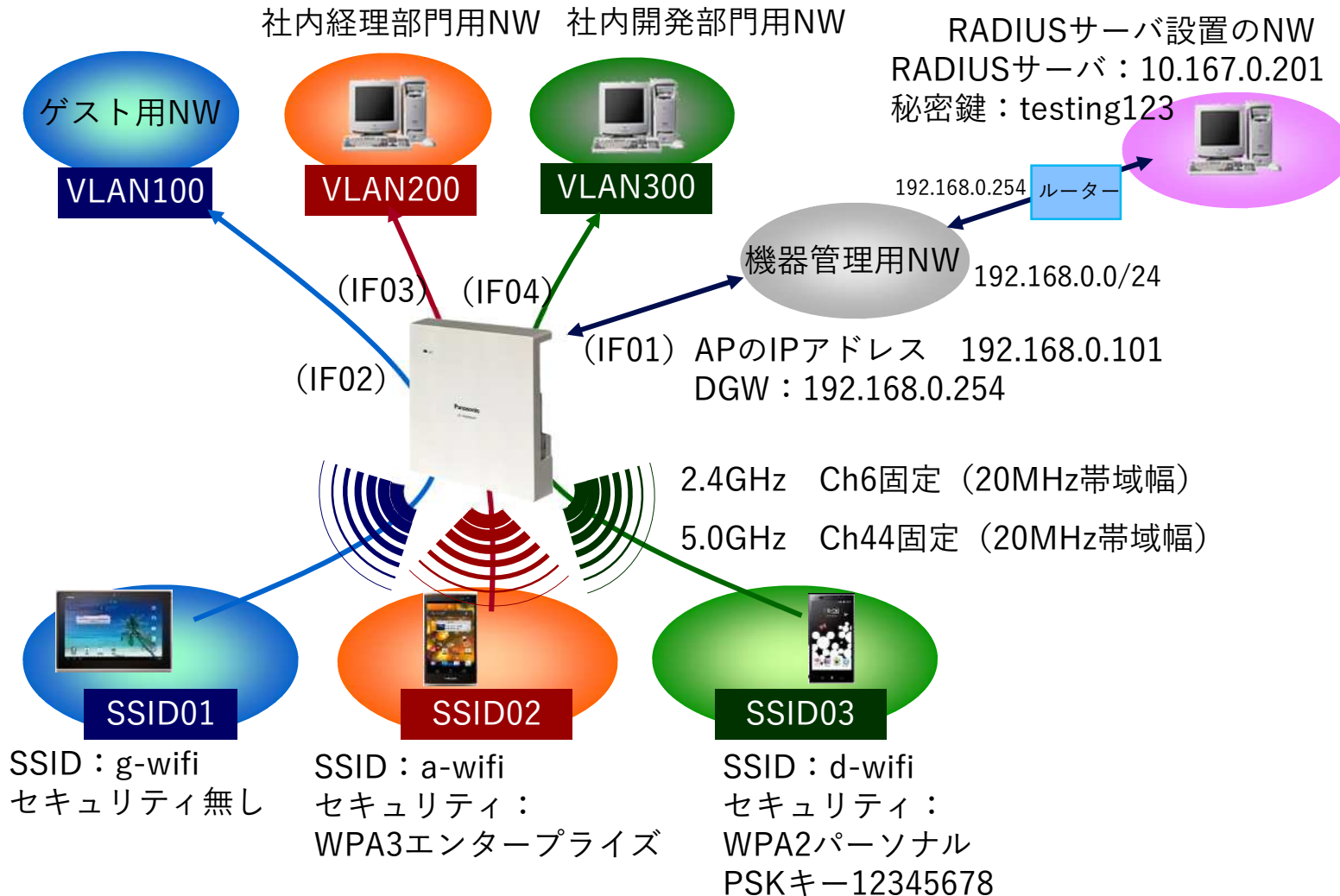
EA-7HW04AP1 設定例

②マルチSSID設定手順

2025/03改

パナソニック コネクト 現場ソリューションカンパニー

構成例



管理IPアドレス：192.168.0.101/24 (IF01)
DGW：192.168.0.254 (IF01)
ゲスト用NW：IF02 (VID100)
社内経理部門用NW：IF03 (VID200)
社内開発部門用NW：IF04 (VID300)
ゲスト用SSID01：
g-wifi (セキュリティ無し)
社内経理部門用SSID02：
a-wifi (WAP3エンタープライズ)
社内開発部門用SSID03：
d-wifi (WPA2パーソナル)
RADIUSサーバーIPアドレス：10.167.0.201
RADIUSサーバー共通秘密鍵：testing123
無線2.4GHz：Ch6/20MHz帯域幅
無線5.0GHz：Ch44/20MHz帯域幅

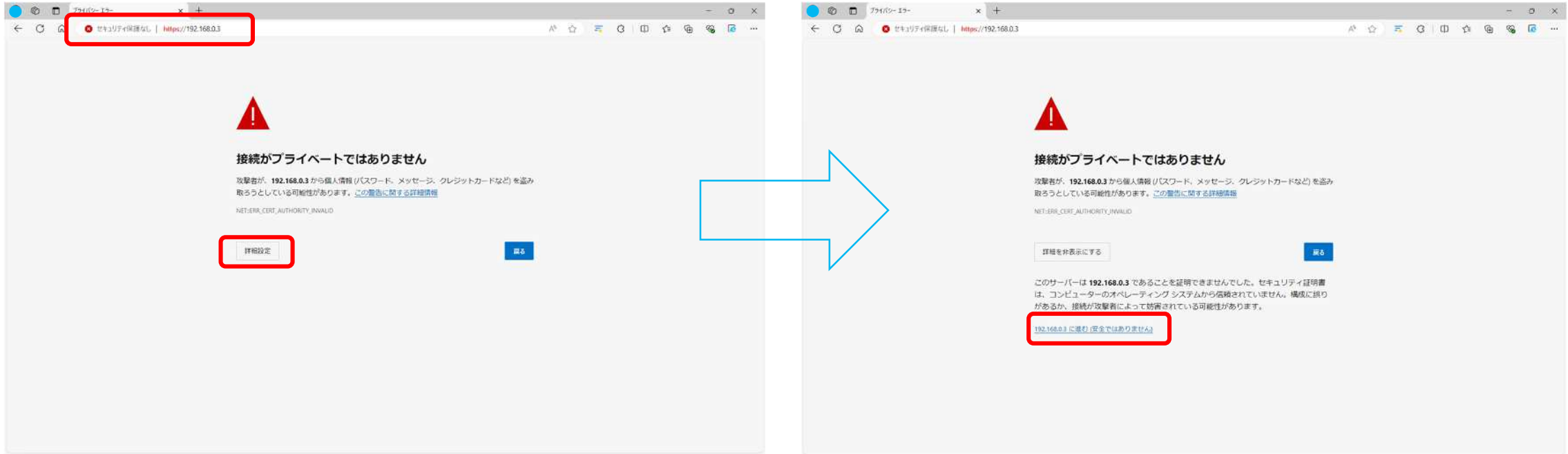
※各SSIDに接続する無線端末のIPアドレスは、各SSIDに紐づけされた各上位ネットワーク（それぞれVLANが異なる）上のDHCPサーバより配布される想定です。
※SSID03のセキュリティはWPA3エンタープライズのため、外部RADIUSサーバーで認証を行います。この例では、その際にAPがRADIUSサーバーと認証の通信を行うIPアドレスを、IF01に設定した管理IPアドレスとしています。

マルチSSID設定手順の流れ

設定手順は以下の流れで行います。

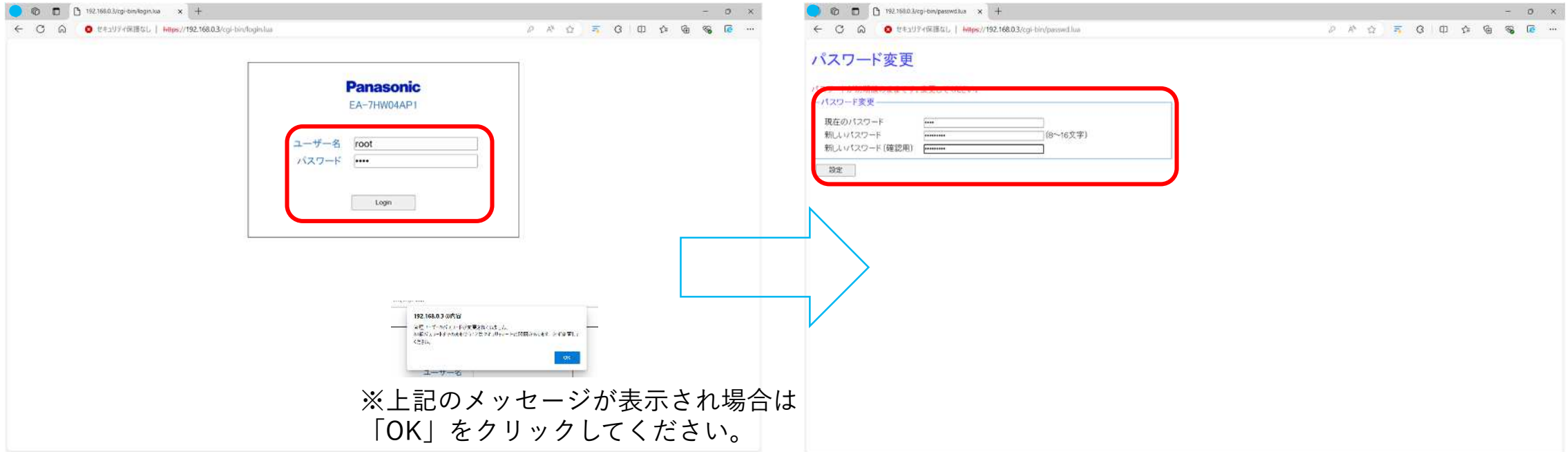
- 1) 装置インタフェース設定
 - ① IF01の設定（管理用IF）IPアドレスの変更
 - ② IF02の設定（ゲスト用IF）VLAN100の設定（IPアドレスは不要）
 - ③ IF03の設定（社内経理部門用IF）VLAN200の設定（IPアドレスは不要）
 - ④ IF04の設定（社内開発部門用IF）VLAN300の設定（IPアドレスは不要）
- 2) Wi-Fiの設定
 - ①SSID01の設定（ゲスト用）
 - ②SSID02の設定（社内経理部門用）
 - ③SSID03の設定（社内開発部門用）
- 3) RADIUSサーバ（Authenticationサーバ）の設定
- 4) デフォルトルート（DGW）の設定
- 5) 無線の設定
 - ①2.4GHzの設定
 - ②5.0GHzの設定

WebGUIログイン手順



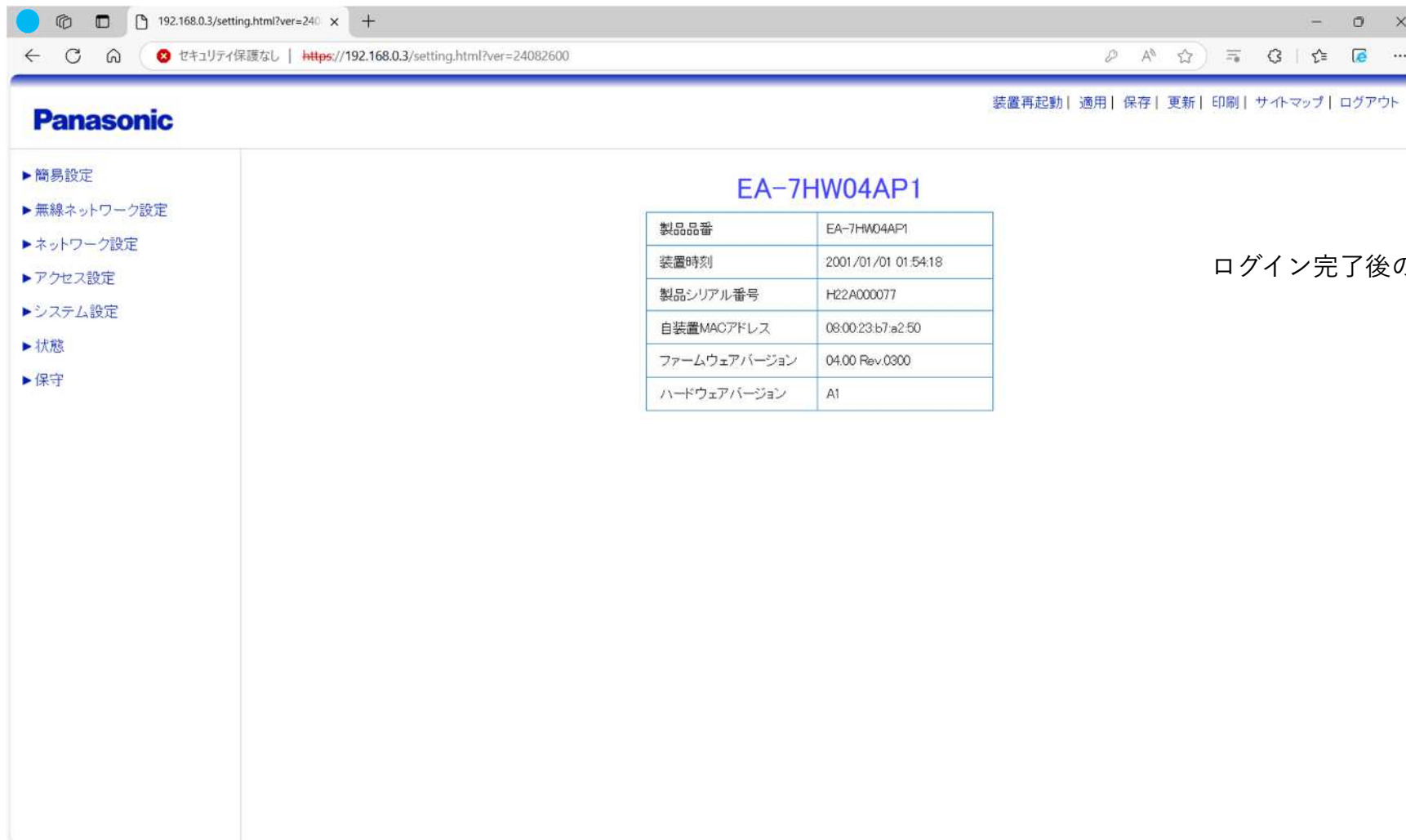
- ① ブラウザを立ち上げ、<https://192.168.0.3> へアクセスします。
- ② 上記の警告表示がされますが、「詳細」をクリックします。
- ③ 「192.168.0.3に進む(安全ではありません)」をクリックします。

WebGUIログイン手順



- ①初期値ユーザ名：root、パスワード：rootを入力し、Loginボタンをクリックします。
- ②初回アクセス時にパスワードの変更を求められますので、お客様ご自身にてパスワードの設定変更を実施ください。
現在のパスワード、新しいパスワード、新しいパスワード（確認用）を入力して設定をクリックします。。

WebGUIログイン手順



ログイン完了後の画面です。

1) 装置インターフェース設定 ①IF01の設定（管理用IF）

192.168.0.3/setting.html?ver=2400 x +

セキュリティ保護なし | <https://192.168.0.3/setting.html?ver=24082600>

Panasonic

装置再起動 | 適用 | 保存 | 更新 | 印刷 | サイトマップ | ログアウト

▶ 簡易設定

▼ 無線ネットワーク設定

装置インターフェース設定

SSID設定

SSID詳細設定

無線詳細設定

Authenticationサーバー設定

Accountingサーバー設定

DNS転送設定

端末接続許可設定

回線設定

Web認証設定

▶ ネットワーク設定

▶ アクセス設定

▶ システム設定

▶ 状態

▶ 保守

装置インターフェース設定

装置インターフェース状態一覧

設定参照 転送先一覧

No.	装置インターフェース名	状態	動作モード	IPアドレス	サブネットマスク	VLAN-ID	
1	IF01	有効	固定設定	192.168.0.3	255.255.255.0	—	編集
2	IF02	無効	—	----	----	—	編集
3	IF03	無効	—	----	----	—	編集
4	IF04	無効	—	----	----	—	
5	IF05	無効	—	----	----	—	
6	IF06	無効	—	----	----	—	
7	IF07	無効	—	----	----	—	編集
8	IF08	無効	—	----	----	—	編集
9	IF09	無効	—	----	----	—	編集
10	IF10	無効	—	----	----	—	編集
11	IF11	無効	—	----	----	—	編集
12	IF12	無効	—	----	----	—	編集
13	IF13	無効	—	----	----	—	編集
14	IF14	無効	—	----	----	—	編集
15	IF15	無効	—	----	----	—	編集
16	IF16	無効	—	----	----	—	編集

①メニュー無線ネットワーク設定>装置インターフェース設定 を選択します。

②装置インターフェース設定 画面が表示されますので、IF01の編集ボタンを押下します。

1) 装置インターフェース設定 ①IF01の設定（管理用IF）

192.168.0.3/setting.html?ver=240 x +

セキュリティ保護なし | <https://192.168.0.3/setting.html?ver=24082600>

Panasonic

装置再起動 | 適用 | 保存 | 更新 | 印刷 | サイトマップ | ログアウト

▶ 簡易設定

▼ 無線ネットワーク設定

- 装置インターフェイス設定
- SSID設定
- SSID詳細設定
- 無線詳細設定
- Authenticationサーバー設定
- Accountingサーバー設定
- DNS転送設定
- 端末接続許可設定
- 回線設定
- Web認証設定

▶ ネットワーク設定

▶ アクセス設定

▶ システム設定

▶ 状態

▶ 保守

装置インターフェイス編集

装置インターフェイス名 **IF01**

装置インターフェイス設定

インターフェイス ☒ 有効 ☐ 無効

装置インターフェイス名 IF01 (0~16文字)

装置インターフェイス状態

IP動作モード	固定設定
IPアドレス	192.168.0.3
サブネットマスク	255.255.255.0
IP自動設定	有効
DNS動作モード	固定
DNS1	0.0.0.0
DNS2	0.0.0.0

IP動作モード ☒ 固定設定 (StaticIP) ☐ 自動設定 (DHCP) ☐ PPPoE ☐ 設定なし

IPアドレス **192.168.0.101**

サブネットマスク 255.255.255.0

PPP設定

ユーザー名 (0~64文字)

パスワード (0~64文字)

☐ 入力確認

IP自動設定

IP自動設定 ☒ 有効 ☐ 無効

①IP動作モード設定内の、IPアドレス にアドレス値を入力します。

（例では192.168.0.101）

※初期値192.168.0.3から変更する事になりますが、全設定後に行う”適用”までは、IPアドレスは初期値のままです。

1) 装置インターフェース設定 ①IF01の設定（管理用IF）

192.168.0.3/setting.html?ver=240 x +

セキュリティ保護なし | <https://192.168.0.3/setting.html?ver=24082600>

Panasonic

装置再起動 | 適用 | 保存 | 更新 | 印刷 | サイトマップ | ログアウト

▶ 簡易設定

▼ 無線ネットワーク設定

- 装置インターフェイス設定
- SSID設定
- SSID詳細設定
- 無線詳細設定
- Authenticationサーバー設定
- Accountingサーバー設定
- DNS転送設定
- 端末接続許可設定
- 回線設定
- Web認証設定

▶ ネットワーク設定

▶ アクセス設定

▶ システム設定

▶ 状態

▶ 保守

DHCPサーバー設定 ☐有効 ☒無効

割当開始IPアドレス

割当個数 (1~2048)

リース期間 分 (1~1440)

ゲートウェイ

DNS1

DNS2

DHCPリレー設定 ☐有効 ☒無効

サーバーIPアドレス1

サーバーIPアドレス2

IPマスカレード設定

IPマスカレード ☐有効 ☒無効

MSSクランプ動作モード ☒設定なし ☐手動設定 ☐自動設定

MSS値 バイト (536~1460)

AP間折り返し禁止設定

対象IPアドレス

対象MACアドレス

対象IF

※ IPアドレスとMACアドレスを設定した場合、MACアドレスが優先されます。

戻る **設定**

①画面を下までスクロールし、設定ボタンを押下します。

1) 装置インターフェース設定 ②IF02の設定（ゲスト用）

192.168.0.3/setting.html?ver=240 x +

セキュリティ保護なし | <https://192.168.0.3/setting.html?ver=24082600>

Panasonic

装置再起動 | 適用 | 保存 | 更新 | 印刷 | サイトマップ | ログアウト

▶ 簡易設定

▼ 無線ネットワーク設定

- 装置インターフェイス設定
- SSID設定
- SSID詳細設定
- 無線詳細設定
- Authenticationサーバー設定
- Accountingサーバー設定
- DNS転送設定
- 端末接続許可設定
- 回線設定
- Web認証設定

▶ ネットワーク設定

▶ アクセス設定

▶ システム設定

▶ 状態

▶ 保守

装置インターフェイス編集

装置インターフェイス名 **IF02**

装置インターフェイス設定

インターフェイス ☒ 有効 ☐ 無効

装置インターフェイス名 IF02 (0~16文字)

装置インターフェイス状態

IP動作モード	設定なし
IPアドレス	-
サブネットマスク	-
IP自動設定	無効
DNS動作モード	自動
DNS1	-
DNS2	-

IP動作モード ☐ 固定設定 (StaticIP) ☐ 自動設定 (DHCP) ☐ PPPoE ☒ 設定なし

IPアドレス 0.0.0.0

サブネットマスク 0.0.0.0

PPP設定

ユーザー名 (0~64文字)

パスワード (0~64文字)

☐ 入力確認

IP自動設定

IP自動設定 ☐ 有効 ☒ 無効

①装置インターフェイス名で、IF02 を選択します。

②装置インターフェイス設定内の、インターフェイス設定 を有効にします。

1) 装置インターフェース設定 ②IF02の設定（ゲスト用）

192.168.0.3/setting.html?ver=240 x +

セキュリティ保護なし | <https://192.168.0.3/setting.html?ver=24082600>

装置再起動 | 適用 | 保存 | 更新 | 印刷 | サイトマップ | ログアウト

Panasonic

▶ 簡易設定

▼ 無線ネットワーク設定

- 装置インターフェイス設定
- SSID設定
- SSID詳細設定
- 無線詳細設定
- Authenticationサーバー設定
- Accountingサーバー設定
- DNS転送設定
- 端末接続許可設定
- 回線設定
- Web認証設定

▶ ネットワーク設定

▶ アクセス設定

▶ システム設定

▶ 状態

▶ 保守

DNS動作モード (?) ☐ 固定設定 ☒ 自動設定 ☐ 設定なし

DNS1

DNS2

VLAN設定 ☒ 有効 ☐ 無効

VLAN-ID (0~4095)

CoS値 (0~7)

転送先設定

イーサネット ☒ 有効 ☐ 無効

L2TPトンネル1

L2TPトンネル2

L2TPトンネル3

L2TPトンネル4

無線ブリッジ1 ☒ 有効 ☐ 無効

無線ブリッジ2 ☒ 有効 ☐ 無効

IGMPスヌーピング設定

IGMPスヌーピング ☐ 有効 ☒ 無効

DHCPサーバー設定 ☐ 有効 ☒ 無効

割当開始IPアドレス

割当個数 (1~2048)

リース期間 分 (1~1440)

ゲートウェイ

DNS1

DNS2

①画面を画面をスクロールし、VLAN設定 を表示させます。

②VLAN設定 を有効 に設定します。

③VLAN設定内のVLAN-IDに、VLAN値 を入力します。
(例では100)

1) 装置インターフェース設定 ②IF02の設定（ゲスト用）

192.168.0.3/setting.html?ver=240 x +

セキュリティ保護なし | <https://192.168.0.3/setting.html?ver=24082600>

Panasonic

装置再起動 | 適用 | 保存 | 更新 | 印刷 | サイトマップ | ログアウト

▶ 簡易設定

▼ 無線ネットワーク設定

装置インターフェイス設定

SSID設定

SSID詳細設定

無線詳細設定

Authenticationサーバー設定

Accountingサーバー設定

DNS転送設定

端末接続許可設定

回線設定

Web認証設定

▶ ネットワーク設定

▶ アクセス設定

▶ システム設定

▶ 状態

▶ 保守

DHCPサーバー設定 ○有効 ●無効

割当開始IPアドレス 0.0.0.0

割当個数 2048 (1~2048)

リース期間 60 分 (1~1440)

ゲートウェイ

DNS1 0.0.0.0

DNS2 0.0.0.0

DHCPリレー設定 ○有効 ●無効

サーバーIPアドレス1 0.0.0.0

サーバーIPアドレス2 0.0.0.0

IPマスカレード設定

IPマスカレード ○有効 ●無効

MSSクランプ動作モード ●設定なし ○手動設定 ○自動設定

MSS値 1460 バイト (536~1460)

AP間折り返し禁止設定

対象IPアドレス 0.0.0.0

対象MACアドレス 00:00:00:00:00:00

対象IF

※ IPアドレスとMACアドレスを設定した場合、MACアドレスが優先されます。

戻る 設定

①画面を下までスクロールし、設定ボタンを押下します。

1) 装置インターフェース設定 ③IF03の設定（社内経理部門用IF）

192.168.0.3/setting.html?ver=240 x +

セキュリティ保護なし | <https://192.168.0.3/setting.html?ver=24082600>

Panasonic

装置再起動 | 適用 | 保存 | 更新 | 印刷 | サイトマップ | ログアウト

▶ 簡易設定

▼ 無線ネットワーク設定

- 装置インターフェイス設定
- SSID設定
- SSID詳細設定
- 無線詳細設定
- Authenticationサーバー設定
- Accountingサーバー設定
- DNS転送設定
- 端末接続許可設定
- 回線設定
- Web認証設定

▶ ネットワーク設定

▶ アクセス設定

▶ システム設定

▶ 状態

▶ 保守

装置インターフェイス編集

装置インターフェイス名 **IF03** ▼

装置インターフェイス設定

インターフェイス ☒ 有効 ☐ 無効

装置インターフェイス名 IF03 (0~16文字)

装置インターフェイス状態

IP動作モード	設定なし
IPアドレス	-
サブネットマスク	-
IP自動設定	無効
DNS動作モード	自動
DNS1	-
DNS2	-

IP動作モード ☐ 固定設定 (StaticIP) ☐ 自動設定 (DHCP) ☐ PPPoE ☒ 設定なし

IPアドレス 0.0.0.0

サブネットマスク 0.0.0.0

PPP設定

ユーザー名 (0~64文字)

パスワード (0~64文字)

☐ 入力確認

IP自動設定

IP自動設定 ☐ 有効 ☒ 無効

①装置インターフェイス名で、IF03 を選択します。

②装置インターフェイス設定内の、インターフェイス設定 を有効にします。

1) 装置インターフェース設定 ③IF03の設定（社内経理部門用IF）

The screenshot shows the Panasonic Connect web interface for device configuration. The browser address bar displays `192.168.0.3/setting.html?ver=240`. The page title is "Panasonic". The left sidebar contains a navigation menu with the following items: 簡易設定, 無線ネットワーク設定 (expanded), ネットワーク設定, アクセス設定, システム設定, 状態, and 保守. Under "無線ネットワーク設定", the sub-items are: 装置インターフェース設定, SSID設定, SSID詳細設定, 無線詳細設定, Authenticationサーバー設定, Accountingサーバー設定, DNS転送設定, 端末接続許可設定, 回線設定, and Web認証設定. The main content area is titled "VLAN設定" and includes the following sections: 1. DNS動作モード (?): Radio buttons for 固定設定, 自動設定 (selected), and 設定なし. Fields for DNS1 and DNS2, both set to 0.0.0.0. 2. VLAN設定: Radio buttons for 有効 (selected and highlighted with a red box) and 無効. Fields for VLAN-ID (set to 200 and highlighted with a red box) and CoS値 (set to 0). 3. 転送先設定: Radio buttons for イーサネット (selected), L2TPトンネル1, L2TPトンネル2, L2TPトンネル3, and L2TPトンネル4. Radio buttons for 無線ブリッジ1 and 無線ブリッジ2, all set to 有効. 4. IGMPスヌーピング設定: Radio buttons for 有効 and 無効 (selected). 5. DHCPサーバー設定: Radio buttons for 有効 and 無効 (selected). Fields for 割当開始IPアドレス (0.0.0.0), 割当回数 (2048), リース期間 (60 分), ゲートウェイ, DNS1 (0.0.0.0), and DNS2 (0.0.0.0). The top right of the page has links for 装置再起動, 適用, 保存, 更新, 印刷, サイトマップ, and ログアウト.

①画面を画面をスクロールし、VLAN設定 を表示させます。

②VLAN設定を有効 に設定します。

②VLAN設定内のVLAN-IDに、VLAN値 を入力します。
(例では200)

1) 装置インターフェース設定 ③IF03の設定（社内経理部門用IF）

192.168.0.3/setting.html?ver=240 x +

セキュリティ保護なし | <https://192.168.0.3/setting.html?ver=24082600>

Panasonic

装置再起動 | 適用 | 保存 | 更新 | 印刷 | サイトマップ | ログアウト

▶ 簡易設定

▼ 無線ネットワーク設定

- 装置インターフェース設定
- SSID設定
- SSID詳細設定
- 無線詳細設定
- Authenticationサーバー設定
- Accountingサーバー設定
- DNS転送設定
- 端末接続許可設定
- 回線設定
- Web認証設定

▶ ネットワーク設定

▶ アクセス設定

▶ システム設定

▶ 状態

▶ 保守

DHCPサーバー設定 ☐ 有効 ☒ 無効

割当開始IPアドレス

割当個数 (1~2048)

リース期間 分 (1~1440)

ゲートウェイ

DNS1

DNS2

DHCPリレー設定 ☐ 有効 ☒ 無効

サーバーIPアドレス1

サーバーIPアドレス2

IPマスカレード設定

IPマスカレード ☐ 有効 ☒ 無効

MSSクランプ動作モード ☒ 設定なし ☐ 手動設定 ☐ 自動設定

MSS値 バイト (536~1460)

AP間折り返し禁止設定

対象IPアドレス

対象MACアドレス

対象IF

※ IPアドレスとMACアドレスを設定した場合、MACアドレスが優先されます。

戻る 設定

①画面を下までスクロールし、設定ボタンを押下します。

1) 装置インターフェース設定 ④IF04の設定（社内開発部門用IF）

①装置インターフェース名で、IF04 を選択します。

②装置インターフェース設定内の、インターフェース設定 を有効にします。

1) 装置インターフェース設定 ④IF04の設定（社内開発部門用IF）

The screenshot shows the Panasonic Connect web interface for configuring a device. The left sidebar contains a navigation menu with categories like '簡易設定' (Easy Settings), '無線ネットワーク設定' (Wireless Network Settings), 'ネットワーク設定' (Network Settings), 'アクセス設定' (Access Settings), 'システム設定' (System Settings), '状態' (Status), and '保守' (Maintenance). The main content area is titled 'Panasonic' and includes a top navigation bar with links like '装置再起動' (Restart Device), '適用' (Apply), '保存' (Save), '更新' (Update), '印刷' (Print), 'サイトマップ' (Site Map), and 'ログアウト' (Logout). The 'VLAN設定' (VLAN Settings) section is highlighted with a red box, and the '有効' (Valid) radio button is selected. The 'VLAN-ID' field is set to 300. Other sections visible include 'DNS動作モード (?)', '転送先設定' (Destination Settings), 'IGMPスヌーピング設定' (IGMP Snooping Settings), and 'DHCPサーバー設定' (DHCP Server Settings).

設定項目	設定値	注釈
DNS1	0.0.0.0	
DNS2	0.0.0.0	
VLAN設定	有効	
VLAN-ID	300	(0~4095)
CoS値	0	(0~7)
イーサネット	有効	
L2TPトンネル1		
L2TPトンネル2		
L2TPトンネル3		
L2TPトンネル4		
無線ブリッジ1	有効	
無線ブリッジ2	有効	
IGMPスヌーピング	無効	
DHCPサーバー設定	無効	
割当開始IPアドレス	0.0.0.0	
割当個数	2048	(1~2048)
リース期間	60	分 (1~1440)
ゲートウェイ		
DNS1	0.0.0.0	
DNS2	0.0.0.0	

①画面を画面をスクロールし、VLAN設定 を表示させます。

②VLAN設定を有効 に設定します。

③VLAN設定内のVLAN-IDに、VLAN値 を入力します。
(例では300)

1) 装置インターフェース設定 ④IF04の設定（社内開発部門用IF）

The screenshot displays the Panasonic Connect web interface for configuring a device. The browser address bar shows the URL `https://192.168.0.3/setting.html?ver=24082600`. The page title is "Panasonic". The left sidebar contains a navigation menu with the following items:

- ▶ 簡易設定
- ▼ 無線ネットワーク設定
 - 装置インターフェース設定
 - SSID設定
 - SSID詳細設定
 - 無線詳細設定
 - Authenticationサーバー設定
 - Accountingサーバー設定
 - DNS転送設定
 - 端末接続許可設定
 - 回線設定
 - Web認証設定
- ▶ ネットワーク設定
- ▶ アクセス設定
- ▶ システム設定
- ▶ 状態
- ▶ 保守

The main content area contains several configuration sections:

- DHCPサーバー設定** (DHCP Server Settings): Includes fields for "割当開始IPアドレス" (0.0.0.0), "割当個数" (2048), "リース期間" (60 分), "ゲートウェイ", "DNS1" (0.0.0.0), and "DNS2" (0.0.0.0).
- DHCPリレー設定** (DHCP Relay Settings): Includes fields for "サーバーIPアドレス1" (0.0.0.0) and "サーバーIPアドレス2" (0.0.0.0).
- IPマスカレード設定** (IP Masquerade Settings): Includes a radio button for "IPマスカレード" (有効/無効).
- MSSクランプ動作モード** (MSS Clamp Operation Mode): Includes a radio button for "設定なし" (有効/無効) and a text input for "MSS値" (1460).
- AP間折り返し禁止設定** (AP Inter-visit Prohibition Settings): Includes fields for "対象IPアドレス" (0.0.0.0), "対象MACアドレス" (00:00:00:00:00:00), and a dropdown for "対象IF".

At the bottom of the page, there are two buttons: "戻る" (Back) and "設定" (Settings). The "設定" button is highlighted with a red box.

①画面を下までスクロールし、設定ボタンを押下します。

2) Wi-Fi設定 ①SSID01の設定（ゲスト用）

The screenshot shows the Panasonic Connect web interface for configuring Wi-Fi settings. The left sidebar contains a menu with '無線ネットワーク設定' (Wireless Network Settings) and 'SSID設定' (SSID Settings) highlighted with red boxes. The main content area is titled 'SSID設定' and displays a table of SSIDs. The table has columns for No., SSID名, SSID, 2.4GHz, 5GHz, 装置インターフェイス名, and a '編集' (Edit) button. The first row, SSID01, is highlighted in yellow, and its '編集' button is also highlighted with a red box. The table lists 16 SSIDs, all currently set to '無効' (Inactive).

No.	SSID名	SSID	2.4GHz	5GHz	装置インターフェイス名	編集
1	SSID01		無効	無効		編集
2	SSID02		無効	無効		編集
3	SSID03		無効	無効		編集
4	SSID04		無効	無効		編集
5	SSID05		無効	無効		編集
6	SSID06		無効	無効		編集
7	SSID07		無効	無効		編集
8	SSID08		無効	無効		編集
9	SSID09		無効	無効		編集
10	SSID10		無効	無効		編集
11	SSID11		無効	無効		編集
12	SSID12		無効	無効		編集
13	SSID13		無効	無効		編集
14	SSID14		無効	無効		編集
15	SSID15		無効	無効		編集
16	SSID16		無効	無効		編集

①メニュー無線ネットワーク設定>SSID設定 を選択します。

②SSID設定 画面が表示されますので、SSID01の編集ボタンを押下します。

2) Wi-Fi設定 ①SSID01の設定（ゲスト用）



192.168.0.3/setting.html?ver=240 x +

セキュリティ保護なし | <https://192.168.0.3/setting.html?ver=24082600>

Panasonic

装置再起動 | 適用 | 保存 | 更新 | 印刷 | サイトマップ | ログアウト

▶ 簡易設定

▼ 無線ネットワーク設定

- 装置インターフェイス設定
- SSID設定
- SSID詳細設定
- 無線詳細設定
- Authenticationサーバー設定
- Accountingサーバー設定
- DNS転送設定
- 端末接続許可設定
- 回線設定
- Web認証設定

▶ ネットワーク設定

▶ アクセス設定

▶ システム設定

▶ 状態

▶ 保守

SSID編集

SSID名 **SSID01** ▼

SSID設定

SSID名 (0~16文字)

SSID (0~32文字)

ブリッジインターフェイス設定

装置インターフェイス名 **IF02** ▼

アクセス制御

端末間通信 ☒ 許可 ☐ 禁止

自装置アクセス ☐ 許可 ☒ 禁止

最大端末接続台数 (1~256)

最低接続保障台数 (0~256)

端末接続監視時間 秒 (5~3600)

無線インターフェイス設定

2.4GHz帯 ☒ 有効 ☐ 無効

5GHz帯 ☒ 有効 ☐ 無効

セキュリティ設定

セキュリティ種別 **オープン(OWEなし)** ▼

Transition Indication (0~15)

MAC認証 ☐ 有効 ☒ 無効

SSIDステルス ☐ 有効 ☒ 無効

①SSID設定の SSID にSSID値 を入力します。

（例では g-wifi）

②ブリッジインターフェイス設定内の装置インターフェイス名で、IF02 を選択します。
（IF02にてVLAN100が設定されています）

※ゲスト用SSIDではセキュリティ設定は無しなので、設定不要（初期値のまま）です。

2) Wi-Fi設定 ①SSID01の設定（ゲスト用）

192.168.0.3/setting.html?ver=240 x +

セキュリティ保護なし | <https://192.168.0.3/setting.html?ver=24082600>

Panasonic

装置再起動 | 適用 | 保存 | 更新 | 印刷 | サイトマップ | ログアウト

▶ 簡易設定

▼ 無線ネットワーク設定

- 装置インターフェイス設定
- SSID設定
- SSID詳細設定
- 無線詳細設定
- Authenticationサーバー設定
- Accountingサーバー設定
- DNS転送設定
- 端末接続許可設定
- 回線設定
- Web認証設定

▶ ネットワーク設定

▶ アクセス設定

▶ システム設定

▶ 状態

▶ 保守

再認証 ☒ 有効 ☐ 無効

再認証周期 秒 (60~86400)

Authentication/Accountingサーバー状態

Authenticationサーバー情報

無線周波数	サーバー番号	現用サーバー	サーバー切り替え時刻
2.4GHz	1	1	—
5GHz	1	1	—

Accountingサーバー情報

無線周波数	サーバー番号	現用サーバー	サーバー切り替え時刻
2.4GHz	1	1	—
5GHz	1	1	—

Authentication/Accountingサーバー設定

Authenticationサーバー番号

NAS-Identifier (0~253文字)

NAS-Identifier(ROKH/2GHz) (0~48文字)

NAS-Identifier(ROKH/5GHz) (0~48文字)

NAS-IP-Address

Accounting ☐ 有効 ☒ 無効

Accountingサーバー番号

SSID詳細設定

戻る 設定

192.168.0.3 の内容

警告

セキュリティ種別がオープン（暗号化無し）に設定されており、情報漏洩などのリスクが存在します。

安全にご使用いただくため、キャンセルボタンを押してオープン以外に変更してください。

（変更しなかったことで生じたいかなる損害についても、当社は責任を負わないものとします。）

OK キャンセル

①画面を下までスクロールし、設定ボタンを押下します。

セキュリティなしの設定のため、
左の警告画面がポップアップしますが
OK を押下します。

2) Wi-Fi設定 ②SSID02の設定（社内経理部門用）

192.168.0.3/setting.html?ver=240 x +

セキュリティ保護なし | <https://192.168.0.3/setting.html?ver=24082600>

Panasonic

装置再起動 | 適用 | 保存 | 更新 | 印刷 | サイトマップ | ログアウト

▶ 簡易設定

▼ 無線ネットワーク設定

- 装置インターフェイス設定
- SSID設定
- SSID詳細設定
- 無線詳細設定
- Authenticationサーバー設定
- Accountingサーバー設定
- DNS転送設定
- 端末接続許可設定
- 回線設定
- Web認証設定

▶ ネットワーク設定

▶ アクセス設定

▶ システム設定

▶ 状態

▶ 保守

SSID編集

SSID名 **SSID02** ▼

SSID設定

SSID名 SSID02 (0~16文字)

SSID **a-wifi** (0~32文字)

ブリッジインターフェイス設定

装置インターフェイス名 **IF03** ▼

アクセス制御

端末間通信 ☒ 許可 ☐ 禁止

自装置アクセス ☐ 許可 ☒ 禁止

最大端末接続台数 256 (1~256)

最低接続保障台数 0 (0~256)

端末接続監視時間 600 秒 (5~3600)

無線インターフェイス設定

2.4GHz帯 ☒ 有効 ☐ 無効

5GHz帯 ☒ 有効 ☐ 無効

SSID詳細設定

セキュリティ設定

セキュリティ種別 **WPA3エンタープライズ** ▼

Transition Indication 0 (0~15)

MAC認証 ☐ 有効 ☒ 無効

SSIDステルス ☐ 有効 ☒ 無効

①SSID名で、SSID02 を選択します。

②SSID設定の SSID にSSID値 を入力します。
(例では a-wifi)

③ブリッジインターフェイス設定内の装置インターフェイス名で、IF03 を選択します。
(IF03にてVLAN200が設定されています)

④セキュリティ設定内のセキュリティー種別で、WPA3エンタープライズ を選択します。

2) Wi-Fi設定 ②SSID02の設定（社内経理部門用）

192.168.0.3/setting.html?ver=240 x +

セキュリティ保護なし | <https://192.168.0.3/setting.html?ver=24082600>

Panasonic

装置再起動 | 適用 | 保存 | 更新 | 印刷 | サイトマップ | ログアウト

▶ 簡易設定

▼ 無線ネットワーク設定

- 装置インターフェイス設定
- SSID設定
- SSID詳細設定
- 無線詳細設定
- Authenticationサーバー設定
- Accountingサーバー設定
- DNS転送設定
- 端末接続許可設定
- 回線設定
- Web認証設定

▶ ネットワーク設定

▶ アクセス設定

▶ システム設定

▶ 状態

▶ 保守

再認証 ☒ 有効 ☐ 無効

再認証周期 秒 (60~86400)

Authentication/Accountingサーバー状態

Authenticationサーバー情報

無線周波数	サーバー番号	現用サーバー	サーバー切り替え時刻
2.4GHz	1	1	—
5GHz	1	1	—

Accountingサーバー情報

無線周波数	サーバー番号	現用サーバー	サーバー切り替え時刻
2.4GHz	1	1	—
5GHz	1	1	—

Authentication/Accountingサーバー設定

Authenticationサーバー番号

NAS-Identifier (0~253文字)

NAS-Identifier(ROKH/2GHz) (0~48文字)

NAS-Identifier(ROKH/5GHz) (0~48文字)

NAS-IP-Address

Accounting ☐ 有効 ☒ 無効

Accountingサーバー番号

SSID詳細設定

戻る 設定

①画面を下までスクロールし、設定ボタンを押下します。

※セキュリティ/WPA3エンタープライズで利用するRADIUSサーバ（外部認証サーバ）の指定番号を1（初期値）として、“Authenticaitonサーバー設定”の1番に、RADIUSサーバの詳細設定を行います。

（（3）RADIUSサーバ（Authenticationサーバ）の設定 を参照ください）

2) Wi-Fi設定 ③SSID03の設定（社内開発部門用）

192.168.0.3/setting.html?ver=24082600

セキュリティ保護なし | [https://192.168.0.3/setting.html?ver=24082600](#)

Panasonic

装置再起動 | 適用 | 保存 | 更新 | 印刷 | サイトマップ | ログアウト

▶ 簡易設定

▼ 無線ネットワーク設定

- 装置インターフェイス設定
- SSID設定
- SSID詳細設定
- 無線詳細設定
- Authenticationサーバー設定
- Accountingサーバー設定
- DNS転送設定
- 端末接続許可設定
- 回線設定
- Web認証設定

▶ ネットワーク設定

▶ アクセス設定

▶ システム設定

▶ 状態

▶ 保守

SSID編集

SSID名: **SSID03** (0~16文字)

SSID: **d-wifi** (0~32文字)

ブリッジインターフェイス設定

装置インターフェイス名: **IF04**

アクセス制御

端末間通信: ☒ 許可 ☐ 禁止

自装置アクセス: ☐ 許可 ☒ 禁止

最大端末接続台数: 256 (1~256)

最低接続保障台数: 0 (0~256)

端末接続監視時間: 600 秒 (5~3600)

無線インターフェイス設定

2.4GHz帯: ☒ 有効 ☐ 無効

5GHz帯: ☒ 有効 ☐ 無効

[SSID詳細設定](#)

セキュリティ設定

セキュリティ種別: **WPA2パーソナル**

PSK: **12345678** (8~63文字/HEX64固定)

☒ 入力確認

PMF: ☒ 有効 ☐ 無効

Transition Indication: 0 (0~15)

MAC認証: ☐ 有効 ☒ 無効

- ①SSID名で、SSID03 を選択します。
- ②SSID設定の SSID にSSID値 を入力します。
(例では d-wifi)
- ③ブリッジインターフェイス設定内の装置インターフェイス名で、IF04 を選択します。
(IF04にてVLAN300が設定されています)
- ④セキュリティ設定内のセキュリティ種別で、WPA2パーソナル を選択します。
- ⑤セキュリティ設定内のPSKに、暗号キーを設定します。
(例では12345678)

2) Wi-Fi設定 ③SSID03の設定（社内開発部門用）

192.168.0.3/setting.html?ver=240 x +

セキュリティ保護なし | https://192.168.0.3/setting.html?ver=24082600

Panasonic

装置再起動 | 適用 | 保存 | 更新 | 印刷 | サイトマップ | ログアウト

▶ 簡易設定

▼ 無線ネットワーク設定

- 装置インターフェイス設定
- SSID設定
- SSID詳細設定
- 無線詳細設定
- Authenticationサーバー設定
- Accountingサーバー設定
- DNS転送設定
- 端末接続許可設定
- 回線設定
- Web認証設定

▶ ネットワーク設定

▶ アクセス設定

▶ システム設定

▶ 状態

▶ 保守

再認証 ☒ 有効 ☐ 無効

再認証周期 秒 (60~86400)

Authentication/Accountingサーバー状態

Authenticationサーバー情報

無線周波数	サーバー番号	現用サーバー	サーバー切り替え時刻
2.4GHz	1	1	—
5GHz	1	1	—

Accountingサーバー情報

無線周波数	サーバー番号	現用サーバー	サーバー切り替え時刻
2.4GHz	1	1	—
5GHz	1	1	—

Authentication/Accountingサーバー設定

Authenticationサーバー番号

NAS-Identifier (0~253文字)

NAS-Identifier(ROKH/2GHz) (0~48文字)

NAS-Identifier(ROKH/5GHz) (0~48文字)

NAS-IP-Address

Accounting ☐ 有効 ☒ 無効

Accountingサーバー番号

SSID詳細設定

戻る

①画面を下までスクロールし、設定ボタンを押下します。

3) RADIUSサーバ（Authenticationサーバ）の設定

Authenticationサーバ設定

Authenticationサーバ番号: 1

サーバー#1設定 ☒有効 ☐無効

サーバーIPアドレス: 10.167.0.201 (0~65535)

サーバーポート番号: 1812 (0~65535)

共有秘密鍵: testing123 (0~64文字)

設定

Authenticationサーバリスト

No.	サーバー番号	接続	IPアドレス	ポート番号
1	1	無効	0.0.0.0	1812
	2	無効	0.0.0.0	1812
2	1	無効	0.0.0.0	1812
	2	無効	0.0.0.0	1812
3	1	無効	0.0.0.0	1812
	2	無効	0.0.0.0	1812
4	1	無効	0.0.0.0	1812
	2	無効	0.0.0.0	1812

①メニュー無線ネットワーク設定>Authenticaitonサーバ設定 を選択します。

※Authenticaitonサーバ番号 1番 が選択されている状態になります。

② サーバー#1設定を 有効 にします。

③サーバー#1設定内のサーバーIPアドレスに、アドレス値を入力します。

(例では10.167.0.201)

④サーバー#1設定内の共通秘密鍵に、値を入力します。

(例ではtesting123)

⑤設定ボタンを押下します。

4) デフォルトルート（DGW）の設定

デフォルトルート設定

ゲートウェイ 192.168.0.254

装置インターフェイス名 IF01

設定

スタティックルート設定 1

宛先IPアドレス 0.0.0.0

マスク値 0.0.0.0

ゲートウェイ 0.0.0.0

装置インターフェイス名

設定

ルート設定一覧

No.	宛先IPアドレス	マスク値	ゲートウェイ	装置インターフェイス名	
DR	—	—	0.0.0.0		削除
1	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0		削除
2	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0		削除
3	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0		削除
4	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0		削除
5	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0		削除
6	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0		削除
7	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0		削除
8	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0		削除
9	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0		削除

- ①メニューネットワーク設定>ルート設定 を選択します。
- ②デフォルトルート設定内の、ゲートウェイ にアドレス値を入力します。
(例では192.168.0.254)
- ③デフォルトルート設定内の、装置インターフェイス名で、IF01 を選択します。
- ④設定ボタンを押下します。

5) 無線の設定 ①2.4GHzの設定

192.168.0.3/setting.html?ver=240 x +

セキュリティ保護なし | <https://192.168.0.3/setting.html?ver=24082600>

Panasonic

装置再起動 | 適用 | 保存 | 更新 | 印刷 | サイトマップ | ログアウト

▶ 簡易設定

▼ 無線ネットワーク設定

装置インターフェイス設定

SSID設定

SSID詳細設定

無線詳細設定

Authenticationサーバー設定

Accountingサーバー設定

DNS転送設定

端末接続許可設定

回線設定

Web認証設定

▼ ネットワーク設定

PPP設定

L2TP設定

IPsec設定

イーサネットポート情報

ルーティング設定

ルート設定

▶ アクセス設定

▶ システム設定

▶ 状態

▶ 保守

無線詳細設定

使用周波数帯: 2.4GHz

最大送信出力一覧: 11b/g/n | 11a/n | 11ac | 11ax

運用動作モード

無線インターフェイス: ☒ 有効 ☐ 無効

ビーコン間隔 (?): 100 ミリ秒 (40~2000)

DTIM間隔: 1 (1~255)

チャンネル制御

チャンネル制御モード: ☒ 固定 ☐ 自動 ☐ 自動2

使用チャンネル番号: 6

選択対象チャンネル番号 (?): 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13

最大周波数帯域幅: ☒ 20MHz ☐ 40MHz

送信出力設定

出力レベル (?): 22 dBm (1~22)

プロテクション

ERPプロテクション動作 (?): ☐ OFF ☒ CTS-to-self ☐ RTS/CTS

OBSSスキャン設定

OBSSスキャン動作: ☒ 有効 ☐ 無効

最大端末接続台数

最大端末接続台数: 256 台 (1~256)

①メニュー無線ネットワーク設定>無線詳細設定 を選択します。

※使用周波数帯が、2.4GHzに選択されている状態になります。

②チャンネル制御設定内の、使用チャンネル番号で、6 を選択します。

③チャンネル制御設定内の、最大周波数帯域幅で、20MHz を選択します。

5) 無線の設定 ①2.4GHzの設定

192.168.0.3/setting.html?ver=240 x +

セキュリティ保護なし | https://192.168.0.3/setting.html?ver=24082600

Panasonic

装置再起動 | 適用 | 保存 | 更新 | 印刷 | サイトマップ | ログアウト

▶ 簡易設定

▼ 無線ネットワーク設定

- 装置インターフェイス設定
- SSID設定
- SSID詳細設定
- 無線詳細設定
- Authenticationサーバー設定
- Accountingサーバー設定
- DNS転送設定
- 端末接続許可設定
- 回線設定
- Web認証設定

▼ ネットワーク設定

- PPP設定
- L2TP設定
- IPsec設定
- イーサネットポート情報
- ルーティング設定
- ルート設定

▶ アクセス設定

▶ システム設定

▶ 状態

▶ 保守

ビーコン間隔 (?) 100 ミリ秒 (40~2000)

DTIM間隔 1 (1~255)

チャンネル制御

チャンネル制御モード ☒ 固定 ☐ 自動 ☐ 自動2

使用チャンネル番号 6

選択対象チャンネル番号 (?) ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5 ☐ 6 ☐ 7 ☐ 8 ☐ 9 ☐ 10 ☐ 11 ☐ 12 ☐ 13

最大周波数帯域幅 ☒ 20MHz ☐ 40MHz

送信出力設定

出力レベル (?) 22 dBm (1~22)

プロテクション

ERPプロテクション動作 (?) ☐ OFF ☒ CTS-to-self ☐ RTS/CTS

OBSSスキャン設定

OBSSスキャン動作 ☒ 有効 ☐ 無効

最大端末接続台数

最大端末接続台数 256 台 (1~256)

ATF制御

ATF ☐ 有効 ☒ 無効

※ ATF制御は2.4GHz/5GHz共通の設定となります。

設定

①画面を下までスクロールし、設定ボタンを押下します。

5) 無線の設定 ②5.0GHzの設定

192.168.0.3/setting.html?ver=240 x +

セキュリティ保護なし | <https://192.168.0.3/setting.html?ver=24082600>

Panasonic

装置再起動 | 適用 | 保存 | 更新 | 印刷 | サイトマップ | ログアウト

▶ 簡易設定

無線ネットワーク設定

装置インターフェイス設定

SSID設定

SSID詳細設定

無線詳細設定

Authenticationサーバー設定

Accountingサーバー設定

DNS転送設定

端末接続許可設定

回線設定

Web認証設定

▼ ネットワーク設定

PPP設定

L2TP設定

IPsec設定

イーサネットポート情報

ルーティング設定

ルート設定

▶ アクセス設定

▶ システム設定

▶ 状態

▶ 保守

無線詳細設定

使用周波数帯 5GHz 最大送信出力一覧 11b/g/n 11a/n 11ac 11ax

運用動作モード

無線インターフェイス ☒ 有効 ☐ 無効

ビーコン間隔 (?) 100 ミリ秒 (40~2000)

DTIM間隔 1 (1~255)

チャンネル制御

チャンネル制御モード ☒ 固定 ☐ 自動 ☐ 自動2

使用チャンネル番号 44

選択可能帯域 W52/W53/W56

選択対象チャンネル番号 (?)

W52	☒ 36	☒ 40	☒ 44	☒ 48
W53	☒ 52	☒ 56	☒ 60	☒ 64
W56	☒ 100	☒ 104	☒ 108	☒ 112
	☒ 132	☒ 136	☒ 140	☒ 144

ZW-DFS制御 ☒ 有効 ☐ 無効

自動リフレッシュモード 無効

自動リフレッシュ時刻 3 時 (0~23)

自動リフレッシュサイクル 毎日

最大周波数帯域幅 ☒ 20MHz ☐ 40MHz ☐ 80MHz

送信出力設定

出力レベル (?) 22 dBm (1~22)

干渉検出設定

①使用周波数帯で、5GHz を選択します。

②チャンネル制御設定内の、使用チャンネル番号で、44 を選択します。

③チャンネル制御設定内の、最大周波数帯域幅で、20MHz を選択します。

5) 無線の設定 ②5.0GHzの設定

192.168.0.3/setting.html?ver=240 x +

セキュリティ保護なし | https://192.168.0.3/setting.html?ver=24082600

Panasonic

装置再起動 | 適用 | 保存 | 更新 | 印刷 | サイトマップ | ログアウト

▶ 簡易設定

▼ 無線ネットワーク設定

- 装置インターフェイス設定
- SSID設定
- SSID詳細設定
- 無線詳細設定
- Authenticationサーバー設定
- Accountingサーバー設定
- DNS転送設定
- 端末接続許可設定
- 回線設定
- Web認証設定

▼ ネットワーク設定

- PPP設定
- L2TP設定
- IPsec設定
- イーサネットポート情報
- ルーティング設定
- ルート設定

▶ アクセス設定

▶ システム設定

▶ 状態

▶ 保守

使用チャンネル番号 44

選択可能帯域 W52/W53/W56

選択対象チャンネル番号 (?)

W52	☐ 36	☐ 40	☐ 44	☐ 48				
W53	☐ 52	☐ 56	☐ 60	☐ 64				
W56	☐ 100	☐ 104	☐ 108	☐ 112	☐ 116	☐ 120	☐ 124	☐ 128
	☐ 132	☐ 136	☐ 140	☐ 144				

ZW-DFS制御 ○有効 ●無効

自動リフレッシュモード 無効

自動リフレッシュ時刻 3 時 (0~23)

自動リフレッシュサイクル 毎日

最大周波数帯域幅 ●20MHz ○40MHz ○80MHz

送信出力設定

出力レベル (?) 22 dBm (1~22)

干渉検出設定

干渉検出閾値 80 % (1~100)

最大端末接続台数

最大端末接続台数 256 台 (1~256)

ATF制御

ATF ○有効 ●無効

※ ATF制御は2.4GHz/5GHz共通の設定となります。

設定

①画面を下までスクロールし、設定ボタンを押下します。

設定の保存（save）と適用（apply）

The screenshot shows the Panasonic Connect web interface for wireless settings. The 'Save' button is highlighted with a red box. The page includes various configuration sections:

- 無線詳細設定** (Wireless Detailed Settings)
 - 使用周波数帯: 5GHz
 - 最大送信出力一覧: 11b/g/n, 11a/n, 11ac, 11ax
 - 運用動作モード
 - 無線インターフェイス: ☒ 有効 ☐ 無効
 - ビーコン間隔 (?): 100 ミリ秒 (40~2000)
 - DTIM間隔: 1 (1~255)
 - チャンネル制御
 - チャンネル制御モード: ☒ 固定 ☐ 自動 ☐ 自動2
 - 使用チャンネル番号: 44
 - 選択可能帯域: W52/W53/W56
 - 選択対象チャンネル番号 (?):

W52	☒ 36	☒ 40	☒ 44	☒ 48
W53	☒ 52	☒ 56	☒ 60	☒ 64
W56	☒ 100	☒ 104	☒ 108	☒ 112
	☒ 132	☒ 136	☒ 140	☒ 144
 - ZW-DFS制御: ☐ 有効 ☒ 無効
 - 自動リフレッシュモード: 無効
 - 自動リフレッシュ時刻: 3 時 (0~23)
 - 自動リフレッシュサイクル: 毎日
 - 最大周波数帯域幅: ☒ 20MHz ☐ 40MHz ☐ 80MHz
 - 送信出力設定
 - 出力レベル (?): 22 dBm (1~22)
 - 干渉検出設定

- ①全て設定完了したら画面右上オレンジの「保存」をクリックします。
- ②「保存」が完了したら、「適用」をクリックします。

※先に「適用」をしますと、APのIPアドレスが設定値に変わり一旦切断されますので、ご注意ください。「適用」完了後、再度ログインする場合は、APに設定されたIPアドレスへアクセスしてください。

※適応実施時にネットワーク構成が更新されることによる警告メッセージが表示された場合も「はい」をクリックして実行します。

※「適用」完了まで、約2分です。

設定事例のコマンド内容

```
interface ip set IF01 192.168.0.101 255.255.255.0
interface vlan status IF02 enabled
interface vlan vlanid IF02 100
interface status IF02 enabled
interface vlan status IF03 enabled
interface vlan vlanid IF03 200
interface status IF03 enabled
interface vlan status IF04 enabled
interface vlan vlanid IF04 300
interface status IF04 enabled
route default 192.168.0.254 IF01
authserver status 1 1 enabled
authserver server 1 1 10.167.0.201
authserver secretkey 1 1 testing123
```

右に続く

```
ssidconfig interface SSID01 IF02
ssidconfig ssid SSID01 g-wifi
ssidconfig interface SSID02 IF03
ssidconfig ssid SSID02 a-wifi
ssidconfig security SSID02 wpa3-enterprise
ssidconfig interface SSID03 IF04
ssidconfig ssid SSID03 d-wifi
ssidconfig security SSID03 wpa2-personal
ssidconfig psk SSID03 12345678
wlanconfig channel set 1 6
wlanconfig channel width 1 20MHz
wlanconfig channel set 2 44
wlanconfig channel width 2 20MHz
```

※設定事例内容のコマンドリファレンス表示一覧です。
(コマンドプロンプトまたはTeratermなどで、SSHログイン後、show config で表示)
※初期値の設定項目は表示されません。